

平

成二十二年十一月二日、与謝野

馨氏が文化学院院長に就任されました。馨氏は、創立者・西村伊作先生とともに学院の基礎を築いた与謝野鉄幹・晶子夫妻の孫にあたられ、学院と深いゆかりをお持ちの方でもあります。

先日、学院に来訪された折には、入口のアーチに立たれ、「お祖母様がいらしたこの場所(前)に、家族で写真を撮ったことがあったなあ」とご同行された奥様に思い出深そうにお話になっていらっしゃいました。以前より学院に親しみを持って下さっていたご様子で、私たちも嬉しく伺いました。学院架蔵の「晶子先生三十三回忌」の集合写真でも、馨氏と、伊作先生の長女で当時校長であった石田アヤ先生とが一緒に写っていらつしやる姿を見ることが出来ます。^(注1)お二人が並ぶこの写真を見ても、変転する時代の中で培われてきた学院と与謝野家との深いつながりを今一度、思い起こさずにはられません。

ご祖母の晶子先生は、当時、教員のみならず、学生とも家族的な温かいおつきあいをして下さいましたとのこ

与謝野 馨氏を院長・理事にお迎えしました!

とです。授業では『源氏物語』や『平家物語』を独特の抑揚で朗読し、講じられる一方で、一人ひとりに似合う洋服の色や形を見立てて下さるなど、細やかに親しく学生たちと触れ合い、「学院のおかあさま」と慕われていらつしやいました。^(注2)

「馨」氏の命名は晩年を共に暮らした晶子先生によるものと新聞の記事^(注3)に見ることが出来ますが、同記事には晶子先生との共通点について「強いて言えば固定観念にとらわれないところかなあ」と馨氏ご自身のコメントも載せられています。与謝野馨院長のお人柄や知見に触れて、学院生一人ひとりが、より一層の成長を遂げられるようお願いしつつ、このたびのご就任を報告いたします。

(注1) 昭和四十九年十月二十五日「晶子先生三十三回忌記念」於上野精養軒

(注2) 「対談」時代(とき)を駆ける第二号(千代田区女性史サークル編平成十四年三月)

(注3) 「この人に再会」⑧与謝野晶子「朝日新聞」平成九年五月三十一日夕刊



読売新聞に掲載!

平成21年11月15日読売新聞(朝刊)に文化学院院長就任の記事が掲載されました!

PROFILE



与謝野 馨 院長・理事

1938年東京都生まれ。1963年東京大学法学部卒業、民間企業勤務を経て1968年中曾根事務所に入所。1976年第34回総選挙に東京都1区(千代田区・港区・新宿区)で初当選。1985年通商産業政務次官に就任、その後文部大臣、内閣官房副長官、通商産業大臣、内閣官房長官(拉致問題担当大臣兼任)、経済財政政策担当大臣など要職を歴任し、現在に至る。

※文化学院創設に携わった歌人与謝野鉄幹・晶子夫妻は同氏の祖父母にあたる。

教育の特徴

- ・学生街「御茶ノ水」にキャンパスがあり、『御茶ノ水』駅から徒歩5分の好立地
- ・89年にわたり、一流の『芸術家』を講師に迎え、一貫して『芸術』教育を実践
- ・創立以来、守り続ける「少人数教育」体制で、『対話形式』の授業を実践
- ・旧校舎の『伝統』を残した、2008年2月完成の新校舎で学べる
- ・『プロの世界』で活躍できる『クリエイターやアーティスト』育成を教育理念に、新たな学科をスタート
- ・『人間形成』を目的としたシネマリテラシーの授業(生徒による映画制作) ※高等課程のみ



2010年 オープンキャンパス・体験入学 1/10 24 2/7 21 3/7 20

オープンキャンパス・体験入学や入試の詳細については、ホームページをご覧ください。

感性を磨いて、作り手のプロへ。
文化学院

御茶ノ水・創立1921

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5

入学相談
フリーコール

0120-75-1921

<http://bunka.gakuin.ac.jp>

Tel.03-3294-7551 / Fax.03-3292-8980



役に立つ情報満載の特別サイトOPEN! 文化学院の最新情報をお知らせします!



文化学院のコミュニティサイト「Bun-花」OPEN!